

〈佐呂間町民憲章〉

進んできまりを守り

明るく平和なまちをつくります

62.11



姉妹都市

パーマ市を訪れて

このたびは呂間町婦人団体連絡協議会の富木陽子さん（永代町）、面貞子さん（若佐）、渡部正子さん（若佐）が姉妹都市パーマ市を訪問し帰町されましたので、一週間に亘る旅行の思い出を語っていただきます。

パーマ市の 思い出

富木陽子
面貞子
渡部正子

国際交流、姉妹都市交流を若い方々の交流のように思っていました私達ですが、八月一日より来町されたカーテパーマ市長夫妻に歓送迎会で、お逢いできその気さくな人柄に勇気づけられての出発でした。

八月十八日、交換学生のカラ・ウィリアムスさんと一緒に女満別、千歳、新東京国際空港を経由しての二週間の交流訪問という大役に、英会話に自信がない私達は緊張と不安を心に抱き空路アラスカに向いました。

日本からアンカレッジ空港まで約七時間の機内の旅を終えて空港ロビーで、パーマ市長夫妻を始めとする数名の方の、にこやかな出迎えを受けて、感激するとともに長旅の疲れがいやされる思いでした。

ここが北の果てアラスカとは思えないほどの良いお天気の中市長さん運転の車で、約一時間かけてパーマ市に着きました。道中、車外を望みますと湖畔等に残りわずかの夏を楽しむ大勢の人達が見受けられました。

心のふれあいをつつじて

私達三人は初日のホームステイ先でありますハナ・カンザスさんの家に着き私達の片言の挨拶にも暖かい笑顔で出迎えていただき楽しい日々が始まりました。その後五軒のお宅に、それぞれ別かれてホームステイさせていただきましたが、どちらのお宅でも、初対面とは思えないほど親切で、人情味厚い持て成しをしていただきました。

言葉の方も、英会話の本を頼りにジェスチャーを交えながら行いましたが、通訳にジェフ・ワナナさん、日本人女性のユキコ・バジャーさんとカラ・ウィリアムスさんが交替で付いていただき大変なすかりました。天気も毎日良く、車で各地区各施設を案内していただき、マ



保護獣「マスカ (musk-ox/ジャコウウシ)」の保護牧場にて



(川釣りを楽しむ人々)



(アンカレッジ空港にてパーマ市長らの出迎えをうける)



(パーマ市長の勤務する津波研究所より)

(パーマ市消防署のハシゴ車の前で)

(市営の飛行場より)

タヌスカ大氷河、送電所とその規模には圧倒されましたが、その中でも川釣りでは、向うの方は「筋子」を食せず、腹を分つてすぐ川に流してしまふとのことと日本の食生活との違いが感じられました。

社会見学として、高校、大学の教育文化施設、近代的な消防施設、病院、老人ホーム、刑務所、農事試験場、そして市長さんの勤める津波研究所等を見学させていただきましたが、特に津波研究所は世界でも二番目の設備を誇っているとのことでした。また、広大な森林地帯を背景に行われている野菜栽培も種類が豊富のようでした。

私達の滞在中に開催されておりましたアラスカ大博覧会を見学させていただきましたがアメリカ全土から人々が集まり、農産物、手芸品等の展示、演劇などの催し物が盛沢山あり、作品の一つ一つはごく日常的な物にアイデアをこらしたのですが作品から伝わる生活のぬくもり自分達の生活に誇りを持って生きているアラスカの人々のあたたかさが感じとれました。私達は主催者のご厚意により、この博覧会のパレードに参加させていただき、この催し物の規模の大きさに感嘆するとともに、ア



佐呂間町のおみやげ「浴衣」を着るパーマ市長夫妻

ラスカの方が古い車を大切に乘っていること、そして国旗を各家庭が立てており自分の国を愛し、市のため、人のためにと充実された生活を送られている様子にじみ出ておりました。

カーテ市長宅への食事のお招きでは、市長夫妻がわざわざ日本米を炊いて歓迎の意を表わしてくださいました。市長夫妻は佐呂間町より送られた「浴衣」を着ており、とてもお似合いでした。

エピソードになりますが、奥様の浴衣のひもが見当らず、通訳のジェフ・ワナーさんも「ヒモ、ヒモ」と伝えましたが、なかなか意味が通じなく、ストッキングを代用され、出席者一同大笑いする場面もございました。その後、浴衣を着たまふ夕方に市議会を案内していただき、この時も佐呂間名産のホタテが出ておりました。

ロータリークラブ、ライオンズクラブ、婦人の手芸会との交流には、自家製の料理、クッ

キー、ケーキなどを持ち寄っていただき、楽しい交流会になりましたことは言うまでもありません。

二週間の日程も、最初の不安とは裏腹に短い内に終り、お別れのパーティには出席者一同でカーラさんの指導のもと、盆踊りを皆様と共に踊って、交流訪問のお別れをさせていただきました。言葉も初めはどうなるかと心配でしたが、生の英会話ができたと、素晴らしい貴重な体験をさせていただいたことに感謝するとともに、言葉が少々通じなくても、人と人がふれ合えば心は通じるということを感じ取りました。

最後に、多くの方がパーマ市を訪れ、また、佐呂間町に来たパーマ市の人々と接することにより姉妹都市交流が益々深まり相互交流のもと双方の文化、伝統などに理解が高まることを心から念じて、生涯忘れることのできないパーマ市訪問の感想とさせていただきます。



(お別れ会より)
佐呂間町旗で記念撮影する子供たち



(姉妹都市記念碑の前で)



(歓迎会より)

免除を受けた期間の 保険料は追納できます。

国民年金の保険料を納付する対象は、第一号被保険者（農業、商業、自営業者など）だけでなく、失業などで所得がないなどの事情でどうしても、保険料の納付が困難な場合は保険料が免除される制度があります。

免除された期間の保険料は納めなくても良いことになっていますが、年金額の計算は、保険料を納めたときの三分の一に減額されます。

そこで、保険料の免除を受けた方がその後、保険料を納めることができるようになったときには、将来有利な年金を受けることができるように、免除されていた期間の保険料の全部または一部を、納めることができます。これを「追納」といって、

十年前の分まで、さかのぼって

納めることができます。

より多くの年金を受取るように、計画的にぜひ追納するようにしましょう。

国民年金保険料の 納め忘れは ありませんか

国民年金は長期間の保険料納付で実を結びますが、加入者の中には、納付書を紛失したり、つい「うっかり」未納にしている方がおります。

わずか一か月分の保険料の納め忘れが原因で年金を受けられない場合もあります。あなたとあなたの家族の年金を確かなものにするために保険料は期日までに、必ず納めておく心がけが大切です。

また、納め忘れを防ぐために預貯金口座から自動的に納付される口座振替を利用して納める方法もあります。

保険料は確実に納めるようにしましょう。

税のしるべ

●税を知る週間

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、いろいろな活動を行っています。

例えば、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、その活動は幅広い分野にわたっています。

税はこのように国や地方公共団体が活動するための大切な財源であり、私たちが生活の向上と安定を願う限りどうしても負担しなければならぬ、共同社会を維持するための会費ともいえるでしょう。

このように重要な役割を果

たしている税について、広く国民の皆さんにそのしくみや使いみちを十分に理解していただき、その上で、正しい申告と納税をしていただく必要があります。

そこで、国税庁では、今年も十一月十一日から十七日までの七日間「税を知る週間」とし、「この社会あなたの税がいきている」をメインテーマに、広く国民の皆さんに税の意義や役割を正しく理解し認識していただけるよう、全国的に各種の行事を幅広く行います。

今月の納税は

国民健康保険税

(第二期)です

忘れずに納めましょう

☆十一月三十日☆

町政日誌

10月	共同募金会会議
1日	第十八回全町高齢者研究及び第十三回スポーツ大会
3日	老人クラブ連合会
9日	ゲートボール大会
10日	サロマ湖駅伝競争大会
12日	例月出納検査
13日	連合PTAとの懇談会
14日	褒賞諮問委員会
15日	湧網線交通対策委員会
16日	会議
23日	非行防止母親大会
27日	網走管内へき地
28日	複式教育研究大会
	第七回臨時町議会
	第四回農業委員会



まちの話題

交通安全啓発用

放送設備完成

赤玉薬局前交差点にこの度、交通安全啓発用放送設備が完成しました。

この放送設備は、遠軽地区交通安全協会佐呂間支部と同佐呂間分会が主体となり、歩行者やドライバーに「事故防止」と「交通安全」を呼びかけるため設置されたもので、早速十月二十二日から始まった輸送繁忙期の交通安全運動期間から、朝、昼夕方の三回にわたり放送し、道行くドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけています。



実りの秋に満足顔

～知来小サツマイモ

収穫～



晴天に恵まれた十月八日、知来小学校三・四年生十三名が、体験学習の一環として春から育ててきたサツマイモの収穫が行われました。

これは同校が毎年実施しているもので、昨年まではひょうたんを作っていました。今年から発想を転換し「特徴のある物」普段の農作業では見られない物」として、三・四年生がサツマイモを、五・六年生がラッカセイ栽培に挑戦していたものです。

土作り、ハウス作りのみ父兄に協力してもらったほかは、植

付け作業からすべてを子供達が行い、夏休みは交替で管理をしていたもので、この日は三十キロほど収穫できました。

また、成育調査のため採取したラッカセイも一株に三十個の実をつけていました。

経験がないため、資料を見ながらの栽培でしたが、昼食時に取れたてのイモをほおばる子供達の顔には、収穫の楽しさがあふれていました。

第十八回老人研修会

第十三回高令者スポーツ大会

十月三日、第十八回老人研修会と第十三回高令者スポーツ大会が町総合体育館で開催されました。

この研修会とスポーツ大会は高令者の方に益々元気です。ごしてもらおうと毎年行われているもので、今年は町内十七老人クラブより四百名が参加しました。

午前中は、湧別町芭露診療所所長の岩代学先生による「人生八十年 あなたならどう生きる」と題した講演が行われ、「高令化社会」と「高令者社会」の違いや、医師の立場から「頭の回転度のチェック」ということで、一問一答式の問題を出しな



がらのきめ細かい講演内容に参加者は熱心に聞き入っていました。

また、引き続きアトラクションとして、参加者のカラオケ大会が行われ、自慢の喉を披露しました。

午後からは、選手を代表して若里の西傳さんの力強い選手宣誓によりスポーツ大会が開始され、選手たちは、運命リレー、ゲートボール、ジャンケンリレーなどに熱中し、観客と一体となつて秋の一日を楽しんでいました。

なお、スポーツ大会の結果は次のとおりです。

優勝 武士・富丘・朝日
準優勝 共立・栄・啓生
三位 富武士・若里

子供たちの健全な育成を願って

～第三回遠軽地区

非行防止母親大会～

遠軽地区防犯協会加盟の七か町村（遠軽・佐呂間・湧別・上湧別・生田原・丸瀬布・白滝）のお母さんが一堂に会し、子供たちの健全育成について意見交換を行う「第三回遠軽地区非行防止母親大会」が十月十六日、町民センターで約百七十名の出席を得て開催されました。

大会では出席した母親代表が子育てについて意見発表し、本町からは姉妹都市を訪問した若佐の渡部正子さんがパーマ市の様子等を発表しました。



また、後半には佐呂間中学校校長大澤崇憲先生の講演が行われ、先生のユーモアにあふれた話の中に時々厳しい口調で語られる「親としての役割」について真剣に聞き入っていました。

佐呂間市街自治会 婦人部研修会

十月十七日、町民センターにおいて、佐呂間市街自治会婦人部研修会が行われました。

これは、同婦人部が昨年より実施しているもので、今回は町で養殖しているサロマス（ドナルドソン系ニジマス）を使つての料理講習会で、講師に国民宿舎華苑の遠藤幸男さんを招いてあらう、ムニエル、変り魚田（みそ焼）、スープの四メニューに魚のおろし方、調理の仕方などを実習しました。

この日は、捕れたばかりの魚を使用する講習のためか、最初はいくちも切れず少々とまどいぎみでしたが、すぐに慣れて遠藤先生も「さすがに、みなさん筋がいいですね」と話してくれました。

この後、全員で作った料理を試食しましたが、これまでサロマスを食べたことがない人が多く、参加者からは「思つて

いたのとは違ひ大変おいしいです」「これなら家でもすぐ作れます」という声が出ていました



長年の献血に対し 日本赤十字社有功章

贈られる

道内で使用される輸血用血液は、道民の皆さんの献血によりまかなわれておりますが、長年この献血に協力されている次の方々に、日本赤十字社から有功章が授与され、十月十四日岸本助役から伝達されました。

本町では、毎年五回採血車が来町し各地区を巡回しておりますが、今回受賞された方々は「採血車が来る、ほとんど献血する」そうです。

今後とも、献血に対し皆さんのご協力をお願い致します。

◎金色有功章

宮前町 高田 ミヤさん (五十回)

◎銀色有功章

宮前町 齊藤 建美さん (三十三回)

宮前町 中原 孝司さん (三十一回)

宮前町 山本 豊子さん (三十一回)

宮前町 上城喜恵子さん (三十回)

宮前町 橋本 勝彦さん (三十回)

宮前町 畑 文男さん (三十回)

永代町 山内 英敏さん (三十回)



第六回サロマ湖

駅伝競争大会

体育の日の十月十日、町体育協会主催による佐呂間町体育協会創立三十周年記念「第六回サロマ湖駅伝競争大会」が行われました。

この日は青空が広がり、駅伝には絶好のコンディションの中、町内八チームが参加し、役場前をスタート、浜佐呂間、富武士若里等を通して、ゴールの役場前までの七区間、四十三・五キロで健脚を競い合いました。

役場前を午前十時にスタートした各チームは、第一区間より先頭競いにデッドヒートを繰り広げ、観客の応援を受けながら秋晴れの中、紅葉に色づく山々

順位	チーム名	時間
1位	役場ゆっくり走ろう会	2:54:14
2位	浜佐呂間走友会	3:04:35
3位	ハングリーボーイズ	3:06:06
4位	知来青年団	3:14:01
5位	栄	3:19:06

区間	ラ ッ プ 賞
1区間	玉井伸一(役場ゆっくり走ろう会)
2区間	桜井政彦(役場ゆっくり走ろう会)
3区間	門 茂治(それゆけノクニーズ)
4区間	海老名忠(知来青年団)
5区間	岡山重和(役場ゆっくり走ろう会)
6区間	深尾 毅(役場ゆっくり走ろう会)
7区間	藤田敏男(ハングリーボーイズ)

雄大なサロマ湖を背景に快走し始終レースをリードした「役場ゆっくり走ろう会」が安定した走りを見せて大会新記録で優勝を飾りました。

なお、各チームの成績、区間最高記録は、別表のとおりです



交通安全功勞で

表彰

九月二十二日、佐呂間町商工会婦人部（部長富木陽子）、佐呂間町青年団体協議会（会長櫛部文治）、佐呂間町農協婦人部若妻会（会長佐高加代子）が、昨年の交通事故死全国一返上と本町交通事故死ゼロ三〇〇日達成に大きく寄与した功績に対し北見方面遠軽警察署長より表彰されました。

表彰された三団体は、毎年の活動の中で交通安全運動を積極的に推進し、又、独自の街頭啓発を展開するなど幅広い活動を続けており、表彰後各代表は、「今後とも、積極的に街頭啓発等に参加し交通事故を一件でも減すよう協力していきたい」と語っていました。



お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案内をのせています。

運転免許証

更新時講習会

▼日時 十二月五日（土）
午後六時から

▼場所 町民センター集会室

※講習は、有効期限（誕生日）の一年前から受講できます。
更新手続きは、有効期限の一月前からできます。

なお、受講される方は、免許証、筆記用具をご持参ください（交通安全協会佐呂間支部）

雇用保険不正受給 防止月間について

雇用保険は、失業した労働者の生活の安定と求職活動を容易にし、就職を促進することを目的にした制度です。

しかし、例年不正行為により失業給付を受ける場合があり、特に近年は、悪質、巧妙化している状況です。
このような不正に対しては、従来から厳しい措置をとってきましたが、特に十一月一日から同月三十日までを、雇用保険不正受給防止啓発月間と定め、全国の公共職業安定所で不正受給防止を図ります。
不正な行為による受給は絶対に行わないようにしましょう。

農薬の保管

管理について

近年、農薬は低毒性化が進められていますが、取扱いを誤ると思わぬ事故の原因となります。これからは、農薬を使用する機会はずっと少なくなりますが、保管の際は必ず次の事を守りましょう。

- 一定の場所を決めて保管し、必ず鍵をかける。
- 直射日光の当たらない涼しく乾燥した所を選ぶ。
- 使用残りの農薬の容器の移し替えは、絶対しない。
- （毒物、劇物に該当する物は）専用保管庫に入れ、必ず鍵をかける。

焼死者事故防止 強調週間について

これから、寒冷期に向かい火気を使用する機会が多くなり、火災による焼死者事故も多発する傾向にあります。

十一月二十六日から十二月二日までの秋季全国火災予防運動に併せて北海道では、「焼死者事故防止強調週間」と定め各種運動を行います。

火災による焼死者を出さぬよう、一人一人が注意しましょう。

スパイクタイヤ 使用自粛について

これから冬季に向い、スパイクタイヤの準備を進めている方も多いと思いますが、毎年この時期、車粉じん発生などが大きな問題となっています。

このため道では、スパイクタイヤの使用自粛期間を、次のとおり定めておりますので、路面

状況や走行範囲に応じたスパイクタイヤの使用をお願い致します。

道央・道南地区

四月十日から十一月十日まで

道東地区

四月二十日から

十一月十日まで

道北地区

四月二十日から

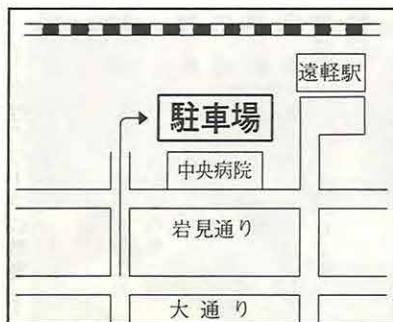
十一月三十一日まで

遠軽駅を

利用の方へ

JR遠軽駅では、同駅を利用される方のために新しく駅裏側に駐車場を、用意しています。

なお、この駐車場をご利用になる方は、駅窓口申し出てくだい。



社会教育だより

オリンピック金メダリスト

松田紀子氏を招き

実技講習会・文化講演会開催

一九七六年モントリオールオリンピックゴールドメダリスト（バレーボール）松田紀子氏をお招きし、次により実技講習会文化講演会を開催致します。隣近所お誘い合せの上ご来場下さいますよう、ご案内致します。

●実技講習会

期日 十一月十四日（土）
時間 午後二時三十分より

場所 佐呂間町体育館

主催 町教育委員会

協力 町バレーボール協会

受講料 無料

受講申込み 町教委社会体育係

に十一月十三日まで

（定員になりしだい締

切ります。）

見学 体育館ギャラリーにて

自由にご見学下さい。

●文化講演会

主催 町教育委員会

佐呂間高校PTA



松田紀子氏

入場料 無料
講師 略歴

期日 十一月十四日（土）
時間 開場 午後六時
開演 午後六時三十分
場所 町民センター集会所
演題 「私とバレーボール」
人生・スポーツ・健康

70'4 日立製作所武蔵工場入
70'3 釧路東高校卒業
52'3 釧路市にて出生
社（日立バレー部入部）

- '71 皇后杯で公式戦
初デビュー 優勝
- '73 日ソ対抗バレーで
全日本初デビュー
- '74 アジア大会（テヘラン）
優勝
- '75 アジア選手権（メルボルン）
優勝
- '76 モントリオールオリン
ピック 金メダル
- '77 ワールドカップ 優勝

町民講座

教育委員会では、次により町民講座の受講生を募集します。お誘い合せの上受講下さい。尚、各教室とも町民センターで開講し、定員になりしだい締切り致します。

●料理教室

期日 十二月五日（土）
時間 午後一時より
内容 正月料理 数品
講師 国民宿舎「華苑」
調理長 遠藤幸男氏
定員 二十名
材料費 七百元（当日徴収）
締切り 十一月二十七日
初心者ワープロ教室
期日 十一月十八・十九・
二十日
時間 午後六時三十分より
（二時間程度）

受講生募集

- トス賞 世界ベスト
六賞 受賞
- '79 日立退社
- '83 ダイエー入社
- '86 ダイエー退社
- '86 プランタン
- '86 新サッポロ入社
- 現在 営業企画担当
- 著書 「やつぱり
バレー大好き」
日本文化出版刊



第1回料理教室より

第十三回遠軽地区 移動文化展開催

遠軽地区教育委員会協議会、網走管内文化団体協議会主催の移動文化展が佐呂間町においても開催されることになりました。この文化展は、地区の文化団体の交流を深めるとともに、文化に対する関心を高め、地域における文化活動の振興を図ることを目的に、地区七か町村から出品されたものを巡回文化展のかたちで開催するものです。皆さんのご来場を心からお待ちしております。

期日 十一月十八日（水）
十九日（木）
時間 午前九時～午後九時
場所 町民センター集会所
展示作品 書道・写真・絵画・木工・切り絵・押絵

女性ワープロ教室
期日 十一月十八・十九
二十日
時間 午後一時三十分より
（二時間程度）
対象 女性のみ
内容
講師 初心者ワープロ教室
定員 と同じです。
教材費
締切り

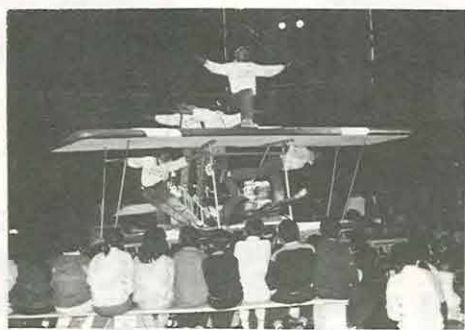
ヒコークィが飛んだ！

小劇場で七百名が観劇

十月十四日佐呂間町体育館で北海道巡回小劇場（道教委・町教委主催）が開かれ、午前と午後の二回公演で町内の小学生約七百名が、生の演劇を観賞しました。

劇団さつぽろによる「とべとベヒコークィ乙型2号」という作品は、子どもたちだけの力でヒコークィを飛ばしてしまおう観客の興味をそそえる内容でした。

この作品は普通の舞台とは違い、ヒコークィはどの角度から見ても美しいということから体育館の真中に円型舞台を組み、観客と舞台の間の垣根をとりのぞ



き、より強いスキャンシップを意図したもので、目の前でヒコークィを組み立てることで子どもたちに遊びや手づくり作業の楽しさを存分に味わってもらおうことができました。

演技者と同じ空間で同じスポットライトを浴びながら観劇した子どもたちは、自分がヒコークィに乗っている姿を思い描きながら、真剣に見入っていました。

「サロマンブルーの

誘惑」

歩け歩け運動終了

町民の健康増進・体力づくりと共に、町民相互の親睦交流を目的に、第六回「歩け歩け運動」が十月四日（日）、幌岩山・キムアネツプを会場として開催されました。

秋晴れのもと町内各地区から百二十名が参加、幌岩山展望台から見えるサロマ湖の景勝、サロマンブルーの誘惑に駆られ、仲間や親子で励まし合いながら一路頂上を目指しました。

展望台から眺めるサロマ湖はまさに絶景、参加者は登山の疲



れも忘れサロマ湖に魅せられていました。下山途中ではコクワキノコなどを摘みながら歩き、キムアネツプではサロマ湖でたわむれたり、参加者相互の交流を行い、参加者だけが味わえた「サロマンブルーの誘惑」の一日でした。

寿大学で

防火学習

九月二十二日の第十二回寿大学で、消防署佐呂間支署の協力により高令者百二十名が、「火災予防」をテーマに学習を行いました。

町民センターでは、最初に映画「あなたは火事の恐ろしさを知らない」を上映し、火災の原因や煙による被害などについて認識を新たにし、身の回りについて起こるかもしれない問題に受講生は、気持ちをひきしめながら

見ていました。その後、佐呂間支署長鈴木一郎さんから「火災をおこさないために」と題した講話があり、佐呂間町の実態や善段から注意をしなければならぬ点について詳しく説明を受けました。

実地学習としては、外に出て消火実験を行いました。受講生のほとんどの家庭に消火器はあっても、使い方を知らなかったり使った経験のある人はほんのわずかで、実際に消火器を使つて炎を消してみたことは、高令者にとって大変有意義な学習になりました。



火災に対する心構えと消火器の取扱い方法について学習しましたが、各家庭の消火器が本当の火事等で使用されることのないように、心がけて欲しいものです。

自然観察体験学習

佐呂間の秋満喫

十月二十五日、秋晴れの日曜日、教育委員会主催の「自然観察体験学習」が佐呂間町知来の国有林で開催されました。

「自然観察体験学習」は、自然の中で色々な体験をさせ、人間性豊かな心を育てようと開催したもので、定員を上まわる三十名の小学生が参加しました。



バスで山奥に入った参加者はまず佐呂間営林署鈴木次長から木の大切さや森林の働きの説明を受けた後、二キロの山道を歩きながら木や植物の名前を覚えてもらい、紅葉狩りやきのこ探し、又木に登つてのコクワ採りなどをしながら楽しい一日を過ごしました。

参加した子供達は、買物袋に一杯の山の幸をお土産に、ニコニコ顔で家路につきました。

火災予防標語・ポスター コンクール入選者発表

秋の火災予防運動の一環として遠軽地区広域組合管内の小・中学校児童生徒を対象に、標語ポスター、作文を募集したところたくさん作品の応募があり九月二十一日、消防本部において審査が行われ次の通り入選致しましたのでお知らせします。

〈標語の部〉

遠軽地区少年・婦人防火委員会
会長賞

・でかけるときは 火のもと確認 完べきに

若佐中一年 山前 満

優・良賞

・火あそびは やるなさせるな
火の用心

仁倉小四年 寺畑 岳明
・さりげない あなたの注意が
火をなくす

若佐中三年 今部 玲子

〈ポスターの部〉



遠軽地区広域組合消防長賞
若佐中一年 田中めぐみ



遠軽地区広域組合消防長賞
栄小 三年 松浦 智彦



遠軽地区広域組合管理者賞
栄小 三年 十亀 隆司



優・良賞
若佐中一年 澤向 博美



遠軽地区危険物安全協会会長賞
若佐中二年 平戸 香



遠軽地区防火管理者連絡協議会
会長賞 若佐中一年 澤向育美

第3回 300歳バレーボール大会参加チーム募集!!

開催日時 11月29日 午前9時
開催場所 佐呂間町総合体育館
申込期限 11月20日まで

申込み及び問い合わせ先
バレーボール協会事務局
(教育委員会 小池 ☎2-2255)

ぼくとわたしの作品

今月は、佐呂間小学校のお友達の作品を紹介致します。

文字

四年 筒井 智子

すっかりした字形で、左右のはらいもよく、見事な作品です。

西名洋画

五年

佐藤 由香

四文字をのびのびとした筆づかいでどっしりと書いた作品です。



四年 相田英里子

細かいところまで、ていねいに描けました。明るい鮮やかな色がでています。



六年 南部 努

大物をつり上げる時の様子がぐっとしたったサオに表わされている力作です。つられた魚も大変ていねいにほりあげています。

交 差 点

▶昭和62年 交通事故発生状況

	(10月末現在)
発生件数	7 (9)
死者数	0 (2)
負傷者数	7 (7)

()内61年同期

▶交通事故死ゼロ500日目標

達成日 昭和63年3月15日
10月末現在 364日です。

▶昭和61年度交通安全標語入選作

あぶない、あぶない、きょうきょう
うんてん (知 来 小 伊東 尚美)
さあ青だ、ちょっと待て さい確認
(佐呂間小 永井 祐実)
冬道は、心もタイヤも 入れかえて
(若 佐 中 湯本 恭子)

ベビーフェイス



西 富 山内 和弘さん

長 男 紳 嗣 ちゃん

昭和六十二年二月八日生

はじめまして、山内家の長男しん君こと紳嗣です。予定

日より一か月早く生まれましたが、今では九千四百五十gもあります。

得意なことは、頭もかしげて「こんにちわ」、身体を動かして「ギッコン、ギッコン」そして手を口にあてて「あわわわ」と、やっとこれだけ覚ええました。それと家中を背中ではって行つては頭をぶつけて泣いています。

テレビが大好きで、「おかあさんと一緒」が入ると身体を動かしてはニコニコ顔です。これからも健康で元気に、そしてたくましく育ってくれば言うことなしです。

冬の交通安全運動

12月1日～10日

☆スリップなどの交通事故防止
☆飲酒運転の防止

編集室

十月号十八ページの欄中に誤りがありましたので、深くお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

●特別養護老人ホームへ

(寄付)

正し母子会

誤し富士母子会

測量商法にご注意!!

最近、「あなたの所有している土地を高く売ってあげる」、「売るためには測量が必要だ」と言って近ずき、測量はしたがなかなか売買してくれないといった苦情が寄せられています。苦情の対象となった土地の多くは、山林とかへんびな原野ですぐには売れないと思われるところへです。

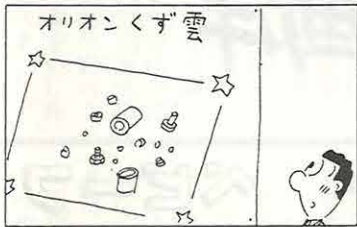
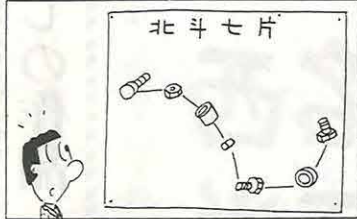
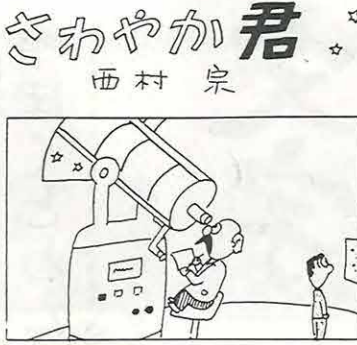
通常、土地は、測量されて法務局に登録されており、分割して売買する場合など以外は、に争いがある場合など以外は、測量し直す必要はありません。土地売買にからむ測量の話があったときは、土地売買代金から測量に要した経費を差し引いてもらう契約内容にするか、売

れる見込みがあるか、測量がどうしても必要なのか、契約する

ご寄付

ありがとうございます

前に十分に確かめましょう。このような、悪質商法についての苦情や相談は、網走支庁消費生活相談所（☎〇一五二一四四一七七一）をご利用ください。



- ▼香典返しを廃して
- 社会福祉協議会へ
- (亡夫光雄さん)
- 知来 澤田タツ子さん
- (亡父菊次郎さん)
- 武士 青木喜久夫さん
- (亡妻さとさん)
- 富武士 井根口定七さん
- (亡父山三郎さん)
- 宮前町 国分惣三郎さん
- (亡母そよさん)
- 富武士 高橋 盛夫さん
- (亡妻さとさん)
- (亡夫政一さん)
- 武士 田中 民子さん
- (亡父惣八さん)
- 仁倉 中津川幸男さん
- (亡母トメさん)
- 浜佐呂間 加川 正一さん
- (亡母キクさん)
- 仁倉 佐藤 力雄さん
- 富武士老人クラブへ
- (亡母そよさん)
- 富武士 高橋 盛夫さん
- (亡妻さとさん)

- 富武士 井根口定七さん
- 富武士老人クラブへ
- (亡父菊次郎さん)
- 武士 青木喜久夫さん
- (亡夫政一さん)
- 武士 田中 民子さん
- ▼全快祝を廃して
- 富武士老人クラブへ
- 富武士 横山 フミさん
- ▼岸千恵子シヨウ益金として
- 栄剣道スポーツ少年団へ
- 若佐剣道スポーツ少年団へ
- 若佐野球スポーツ少年団へ
- 佐呂間剣道スポーツ少年団へ
- 佐呂間野球スポーツ少年団へ
- 佐呂間柔道スポーツ少年団へ
- 佐呂間ボーイスカウト 第一団へ
- はばたけ子供会へ
- 富武士剣道スポーツ少年団へ
- 海洋少年団へ
- 浜佐呂間剣道スポーツ少年団へ
- 浜佐呂間野球スポーツ少年団へ
- サロマ青少年育成会
- ▼カラオケパーティー益金として
- 浜佐呂間公民館へ
- 学校祭チャリティーバザー 益金として
- 社会福祉協議会へ
- 佐呂間 高等 学校
- チャリティーシヨウ

私たちのまち

人口	8,340	(前月比)	(+10)
男	4,021		(+ 4)
女	4,319		(+ 6)
世帯数	2,582		(+ 5)
9月30日現在			

- 社会福祉協議会へ
- さろまカラオケ同好会
- ▼離町に際して
- 社会福祉協議会へ
- 佐々木忠正さん
- その他
- 特別養護老人ホームへ
- 《奉仕》
- 佐呂間 園芸同好会
- 町立図書館へ
- 永代町 工藤 孝さん
- 西富 徳永 良行さん
- 北見市 吉田 邦子さん
- 佐呂間町 共同募金会
- 北見 税務 所
- 北海道 開発 調整 部
- 静岡県 広 報 庁
- 防衛 課

益金として